

科 目 名
総合科目 I Integrated Course I

1年 前期 2単位 選択

学科全教員

その1：数学

概 要

この授業は数学の苦手な学生を対象とする基礎学力向上のためのものである。高校で数学を十分に学習していない学生でも大学数学および専門教育科目を理解し、専門教育をスムーズに受けることができるようになる導入的な授業をおこなう。

達成度目

計算力、読解・翻訳・分析力、目標設定力、遂行力、論理力の向上を目指す。

授業計画

テ ー マ	内 容
① 正負の数	正負の数について計算技能および数理技能を高める
② 平方根・文字式の計算	平方根・文字式の計算について計算技能を高める
③ 式の展開・因数分解	式の展開・因数分解について計算技能を高める
④ 1次方程式・1次不等式	1次方程式・1次不等式について計算技能を高める
⑤ 連立方程式	連立方程式について計算技能を高める
⑥ 2次方程式	2次方程式について計算技能を高める
⑦ 式の値・関数	式の値・関数について計算技能を高める
⑧ 図形	図形について計算技能を高める
⑨ 平面図形・空間図形	平面図形・空間図形について数理技能を高める
⑩ 関数	関数について数理技能を高める
⑪ 方程式	方程式について数理技能を高める
⑫ 三平方の定理・図形の合同	三平方の定理・図形の合同について数理技能を高める
⑬ 確率・統計	確率・統計について数理技能を高める
⑭ 思考力を問う問題	思考力を問う問題 学生による授業評価。
⑮ 総括	講義のまとめと定期試験、学生自身による自己評価を行う。

授業方法

教科書を使用する。簡単な小試験を行う。

学習達成度の評価

- ① 定期試験や小試験により行う。
- ② 適宜、小試験を行う。模範解答を参考に自己採点し、その都度自分自身で学習の到達度を評価する。

評価方法

定期試験（50点）と小試験（50点）で評価する。60点に満たなければ再試験を実施する。

数学・英語の2科目受講の場合は、両科目の合格点の平均点とする。

教 材

教科書：「数学検定過去問題集3級」(財)日本数学検定協会 監修、(株)創育

履修上の注意

数学の苦手な学生を対象とする。

その2：英語

概要

研究成果をひろく情報発信し、それが多くの人に読まれ、そして認められてはじめて、研究はひとくぎりとなる。バイオテクノロジーの分野において英語は非常に重要な科目であるが、英語を苦手、不得意とする学生も多い。本科目は、英語の苦手意識をなくし、基礎力を養成し、英語の学習法を取得することを目的とする。常に世界的な視野に立って幅広く人類の精神文化を理解し、国際的に通用するコミュニケーション手段としての英語力を身につけるための基礎を養う。

達成度目標

英語の苦手な学生を対象とする。英語に慣れる。英語の基礎力を養う。自分で英語を学習する方法を学び、英語を学習する喜びを知る。

授業計画

	テーマ	内容
①	名詞、代名詞	名詞、代名詞について理解し、演習問題を解く。
②	Be動詞、一般動詞	be動詞、一般動詞について理解し、演習問題を解く。
③	助動詞	助動詞について理解し、演習問題を解く。
④	文の種類	文の種類について理解し、演習問題を解く。
⑤	文型	文型について理解し、演習問題を解く。
⑥	時制	時制について理解し、演習問題を解く。
⑦	完了形	完了形について理解し、演習問題を解く。
⑧	進行形、態	進行形、態について理解し、演習問題を解く。
⑨	不定詞	不定詞について理解し、演習問題を解く。
⑩	知覚動詞・使役動詞、動名詞	知覚動詞・使役動詞、動名詞について理解し、演習問題を解く。
⑪	分詞、比較	分詞、比較について理解し、演習問題を解く。
⑫	関係代名詞	関係代名詞について理解し、演習問題を解く。
⑬	関係副詞	関係副詞について理解し、演習問題を解く。
⑭	句と節、接続詞	句と節、接続詞について理解し、演習問題を解く。学生による授業評価。
⑮	総括	講義のまとめと定期試験、学生自身による自己評価を行う。

授業方法

教科書を使用する。簡単な小試験を行う。

学習達成度の評価

- ① 定期試験や小試験により行う。
- ② 適宜、小試験を行う。模範解答を参考に自己採点し、その都度自分自身で学習の到達度を評価する。教師は、採点されたその小試験を提出させて学生の理解度をチェックしながら授業の進め方について工夫する。
- ③ 再試験中の1コマを使い、定期試験の講評を行う。

評価方法

定期試験（50点）と小試験（50点）で評価する。60点に満たなければ再試験を実施する。

数学・英語の2科目受講の場合は、両科目の合格点の平均点とする。

教材

教科書：「高校英語基礎のキ」富士根秀雄 著、日栄社

履修上の注意

英語の苦手な学生を対象とする。

教科書の分からぬ單語を必ず英和辞典で調べて予習しておくこと。

講義には教科書、英和辞典、ノート、筆記用具を忘れないようにもってくこと。